

ともに生きる豊かな地域社会をめざして

～第20回東通村社会福祉大会・第29回東通村老人クラブ唄と踊りの集い～



越善名誉大会長による挨拶

式辞を述べる南川大会長

10月23日(火)、村体育館を会場に、第20回東通村社会福祉大会・第29回東通村老人クラブ唄と踊りの集いが開催されました。

第1部の社会福祉大会では、南川定一大会長、越善靖夫名誉大会長より挨拶があった後、多年にわたり民生委員児童委員を務められた功績をたたえ、三上充氏(尻屋)に表彰状が贈られました。その後、社会福祉協議会 竹林鶴子理事より大会宣言がなされ閉式となりました。



会場を盛り上げた歌と踊り



講演ではヨーガを実践

また、式典後には、トレーニングアドバイザー小泉洋氏より、ヨーガを基にした簡単な体操を交えながら、健康に関する講演が行われました。

第2部の老人クラブ唄と踊りの集いでは、各地区老人クラブから熟練した手さばきと元氣な踊りが披露され、会場からたくさんの歓声やお花があがっていました。

エネルギーや環境の学習に活用してください！

～東北電力(株)東通原子力発電所図書寄贈～



佐藤所長(左)から目録を受け取る越善村長

10月29日(月)、東北電力(株)東通原子力発電所 佐藤敏秀所長が役場庁舎を訪れ、小・中学生を対象としたエネルギーや環境に関する図書を含む教育関係図書216冊を東通村へ寄贈しました。

村長室で行われた寄贈式では、佐藤所長から「子ども達の未来への飛躍のために活用してください」と越善靖夫村長に目録が手渡されました。

同社は、平成10年から「原子力の日(10月26日)」、「電気記念日(3月25日)」にちなみ、次世代を担う子供たち

にエネルギーや環境について関心を深めてもらうことを目的として、村内の小学校や中学校に教育関係図書を寄贈してきました。

寄贈は今回で28回を数え、5506冊に及び、子ども達のために活用されています。ありがとうございます。

原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが閣議決定し、制定されました。